

# 「不易流行」

ふ えき りゆう こう

「理想」を創造する

「理想」を創造する

## 『江府の良さを発信』

7月20日、21日の2日間、鳥取県関西本部からの依頼で「鳥取学出前講座」の講師をするために、大阪に出張しました。講演の構成は、前半は江府町を知っていたこと、後半は「3000人の楽しい町」を指す取り組みを紹介しました。参加者は鳥取県人会の方を中心に2日間で約70名。江府町ご出身の方はお二人おられました。江府町について記憶に留めていただけるよう、2つのキーワードに絞って江府町を紹介しました。一つは「奥大山」、もう一つが「江尾十七夜」です。講演の前に、担当されている方から「固苦しい話ではなく、面白い話をしてください。」とお聞きしたので、どちらかというととくだけた感じでお話ししました。講演終了直後に、お水の注文や、3000人の楽しい町サポーターの申し込みをくださった方もありました。お水については、会場で



配布したものを飲まれて、「冷やしてなかったけど、とても美味しかった。」と言っていた。江府町の自慢の一品に、自信を深めることができました。

鳥取学出前講座が終わると、京都府精華町にあるサントリーグループの研究開発拠点「サントリーワールドリサーチセンター」を訪ねました。先進的で世界的にも注目されている施設ですが、なにより嬉しいのは、江府町産のミズナラの木が建物内の床、壁、階段等に使われていることです。このような立派な施設に江府町の木が使われていることは、とてもありがたい。我々江府町民にとつて自慢できることではないでしょうか。サントリープロダクツの社長として長くお世話になっていた垣見さんにも再会することができました。現社長の伊藤さんにもお付き合いました。今後ともこの繋がりを大切にしたいと思います。

## 「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム報告

7月13日(木)と20日(木)に職員に向けた「3000人の楽しい町プロジェクトチーム」の公開会議を開催しました。

前回住民さん向けに開催したときと同じくテーマは「庁舎」です。ですが、職員向けということもあり、住民さんによつて利用しやすいという観点の他に「働きやすい庁舎」という目線でも考えてみました。

### 【職員のみなさんから出た意見】

「役場が暗い」、「駐車場が狭い」  
「個別相談スペースがない」など

### 業務面

「分庁舎で他の職員の顔が見えない」  
「デスクの整理整頓ができていない」  
「ワンストップサービスが必要」など

### 職員としてあるべき姿

「プロとして自覚を持つ」  
「住民さんの相談にしっかりと対応できる職員」  
「住民さんの顔と名前がわかる」など

スペースの都合上、ほんの一部しか載せられませんが、たくさんの方の意見交換ができました。普段話す機会があまりなかった他部署の職員と業務について話し合うことは職員にとつてもいい収穫だったのではないかと思います。

今回のワークショップの内容を踏まえながら職員間の連携や業務改善に取り組んでいきます。

また、今後については住民向けのワークショップの開催に向けて準備を進めていきます。次回もたくさんの方のご来場をお待ちしています！



▲職員向けワークショップの様子

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。